

地方独立行政法人静岡県立病院機構第 59 回理事会議事録

日 時：平成 26 年 10 月 28 日（火）13：00～14：30

会 場：こころの医療センター 大会議室

出席者：田中一成理事長（議長）、杉山嘉章副理事長、櫻井透理事、椎名正樹理事、古田里恵理事、星野希代絵理事、瀬戸嗣郎理事、村上直人理事、鈴木素子監事、小池賢監事

※ 田中理事長から、今回の議事録署名人として、杉山副理事長と椎名理事が指名された。

議 事

1 審議事項

第 1 号議案 年末年始等に勤務する看護師への対応について

議長から、年末年始等に勤務する看護師への対応について示された。これについて本部事務部からの説明後、古田理事から質問があり、支給率は過去に行っていた支給とは異なること、職員には状況により選択の自由があることが確認された。また、年末年始の看護師配置数について言及があった。椎名理事から期間限定であることについて質問があり、機構内病院間の事情が異なるため、継続していくと一部病院で経営が圧迫される恐れがある旨回答があった。また、今回の実施結果を分析し、継続については改めて検討するよう言及があった後、原案のとおり了承された。

2 報告事項

報告 1 平成 26 年度上半期の患者動向（速報値）について

報告 2 平成 26 年度職員採用試験の実施状況について

報告 3 「勤務成績評価制度」試行実施について

報告 4 各病院における主要な行事概要等について

- ・ 平成 26 年度上半期の患者動向（速報値）について、椎名理事から、総合病院は数値報告の際、一般と結核、どこまで病床を含むか明記するべきである旨言及があった。また、こども病院の休床部分について質問があり、院内で今後の対策は検討している旨回答があった。
- ・ 平成 26 年度職員採用試験の実施状況について、瀬戸理事から、病院の採用数と比較をするため、募集人数の内訳を示すよう言及があった。また、椎名理事から、採用予定者の多くは国家試験受験予定者であることを踏まえ、試験の難易度や合格率等の状況変化について言及があった。
- ・ 「勤務成績評価制度」試行実施について、古田理事から、評価者によって評価に偏りが出てしまう恐れがある旨言及があり、試行実施前には十分な研修を行い、今後も改善しながら実施していく旨説明があった。また、櫻井理事から、民間では随分前から評価制度を行っており、人事の公平性の面でも実施すべきである旨言及があった。椎名理事から、機構として、今後の予定も含めた制度の詳細をまとめるべきであり、実施結果のデータが得られたら職員へ還元し改善していくべきである旨言及があった。

3 その他

- ・ 次回第 60 回理事会について、平成 26 年 11 月 26 日（水）13：00 から、機構本部にて開催することを決定した。

4 閉会